

寅さん歩 その 19

バーチャルウォークで 奥州街道竜飛岬までー3



平野 武宏

寅次郎、下野国（現在の栃木県）宇都宮宿から、さらに北に進み、奥州街道終点の陸奥國（現在の青森県）の三厩（みんまや）宿、そして津軽半島最北端の竜飛岬までの長いバーチャルウォークに挑戦しています。

バーチャルウォークとは毎日の散歩などで歩いた距離をコースシートの 2km 単位で進んでゴールを目指します。コースシートはHPのY R・四季の道をご覧ください。

奥州街道竜飛岬までは 2020 年 12 月～2021 年 8 月に歩いて、寅さん歩 352 東京の博物館めぐり-39～寅さん歩 373 谷端川の流れを歩く-5 の内で経過のみを報告しましたが、今回は各宿場を紹介しながら歩きます。

徳川家康が整備して幕府が直轄した「五街道」の奥州道中（奥州街道）は日本橋から白河宿までで、白河宿から北の奥州街道は幕府の勘定奉行が管理し、各藩が支配しました。白河宿より北の各宿場については参考文献が少なくネットなどで調べた情報です。写真は無料画像を使用します。

前は根田宿から鏡石宿まで歩きました。今回は須賀川宿から北杉田宿まで歩きます。

〔須賀川宿〕 福島県須賀川市

最寄駅 JR東北本線 須賀川駅

2024 年 10 月 22 日須賀川（すかがわ）宿（日本橋から 222km）に到着しました。



須賀川宿（写真上左）は室町時代に築城、江戸時代初期に廃城になった須賀川城の城下町でしたが、月に 6 回開催の六斎市が立つ商人町として栄えました。文化的にも俳諧が盛んで松尾芭蕉も 7 日間逗留しています。写真上右は奥州街道 59 番目の一里塚で国の史跡として保存されています。

〔笹川宿〕 福島県郡山市 最寄駅 JR 東北本線 安積永盛駅

2024 年 10 月 25 日笹川（ささがわ）宿
（日本橋から 229km）に到着しました。

笹川は室町時代足利満兼が作った館・笹川御所がありました。笹川宿は奥州街道整備でまわりの集落の住人が集められて作られました。写真右は笹川宿の現在の風景です。



「郡山宿」 福島県郡山市 最寄駅 JR 東北本線 郡山駅

2024 年 10 月 25 日郡山（こおりやま）宿（日本橋から 234km）に到着しました。郡山宿は会津街道・三春街道の分岐点で交通の要衝で江戸時代に繁栄しました。写真下左は古社として伝わる安積国造（あさかくにつくこ）神社です。写真下右は名物の「薄皮まんじゅう」です。ウォーキングで全国に出かけていた時、バスでウォークなどの出発場所は東京駅南口八重洲駐車場でした。常連だった郡山の参加者が新幹線の東京駅到着時間でいつも遅れて来て、皆さんを待たせて申し訳ないとお土産に持参したのが「薄皮まんじゅう」でした。寅次郎の住む東京都豊島区の JR 大塚駅前に支店があり、当時が懐かしく買っています。



「福原宿」 福島県郡山市 最寄駅 JR東北本線 郡山駅

2024年10月29日福原宿（日本橋から238km）に到着しました。

福原宿は福原村の住人が移住して作られましたが、当時の町並みはほとんど残っていません。写真右は現在の風景です。



「日和田宿」 福島県郡山市日和田町 最寄駅 JR東北本線 日和田駅

2024年10月29日 日和田（ひわだ）宿（日本橋から240km）に到着しました。日和田宿は岩城街道の分岐点でした。ここから離れた場所が大規模開発されたので昔の面影が残されています（写真下左右）。



「高倉宿」 福島県郡山市日和田町 最寄駅 JR東北本線 五百川駅

2024年10月31日高倉宿（日本橋から244km）に到着しました。高倉宿は高倉城の郭に作られた宿場です。写真下左は二本松氏の家督相続争いに敗れた畠山政泰が高倉に山城を造り、この地を高倉と名乗ったそうです。写真下左は高倉城址、写真下右は現在の風景です。



[本宮宿] 福島県本宮市 最寄駅 JR東北本線 本宮駅

2024年10月31日本宮（ほんぐう）宿（日本橋から248m）に到着しました。本宮宿は奥州街道、会津街道、相馬街道、三春街道が集まる交通の要衝でした。阿武隈川（写真下右）の舟運で盛んで賑わった宿場です。阿武隈川は福島県西白河郡西郷村の旭岳に源を発し北上して、宮城県岩沼市から太平洋に注ぐ東北で二番目に長い川です。



[杉田宿]・[北杉田宿] 福島県二本松市

最寄駅 JR東北本線 杉田駅

2024年10月31日杉田宿（日本橋から252km）・北杉田宿（日本橋から254km）に到着しました。

杉田宿（南杉田宿）と北杉田宿は杉田川（写真下左）を挟んだ位置にあり、宿場機能は二つで一つだったようです。写真下右は現在の風景です。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝